

政 策 9

～生涯学習やスポーツを

楽しむことができるようにします～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
学習活動を行っている市民の割合	—	50.0%	50.0%	—	44%	50%
	44.4%	42.2%	39.3%	36.2%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

市民の半数(50%)が行っていることをめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	—	75.0%	75.0%	—	70%	75%
	69.4%	66.9%	69.3%	66.2%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

平成19年度、22年度の目標値75%をめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
目的を持って部活動をしている児童生徒の割合	—	—	—	—	82%	90%
	—	68.2%	80.9% (H22)	80.4%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

現状値が比較的高い加入率なので、平成21年度の現状値からの緩やかな上昇を見込み、90%をめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
スポーツを行なっている市民の割合	—	50.0%	50.0%	—	42%	50%
	33.4%	36.0%	36.1%	35.4%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

市民の2人に1人が継続的にスポーツ活動を行うことをめざす。

政策9

生涯学習やスポーツを楽しむことができますようにします

1. 学習したい人が生涯にわたり学習できるようにします

1. 現況と課題

平成18年の教育基本法の改正によって、「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念が規定されました。

なお、市民意識調査による「学習活動を行っている市民の割合」は、平成13年度44.4%だったものが、24年度には36.2%と減少し、「学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合」は、平成13年度の69.4%から24年度に、66.2%に減少しています。

仕事をリタイアしてから、今後の人生を豊かに送るために、生涯学習をしたいという人が増加すると見込まれますが、個人だけでなく、社会全体の教育力向上を目指すためにも、単なる場所や情報の提供ではなく、知の循環や知の広がり、深まりが生まれる仕組みを考えることも生涯学習社会には必要です。

【特筆すべきニーズの変化】

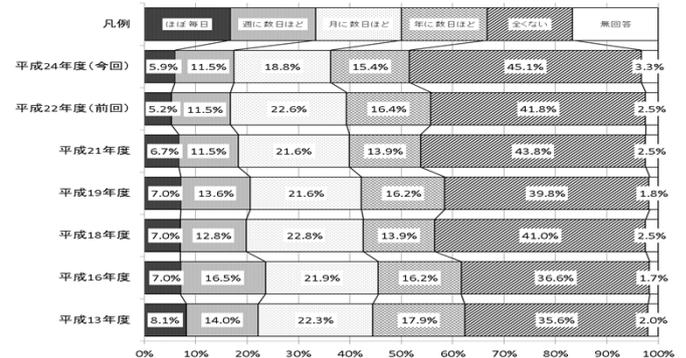
- ① IT機器の普及により、インターネットを活用した情報収集が増加しています（ニーズの増）
- ② 社会教育関係登録団体の各団体構成員数は高齢化による減少傾向にあり、若い世代を取り込むため様々な活動を行っています

● 公民館講座実績推移



出典 公民館事業報告書

● 学習活動を行っている市民の割合



出典 松戸市市民意識調査(平成24年度)

● 社会教育関係団体登録数の推移

社会教育関係団体: 法人であると否を問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的としているものです。



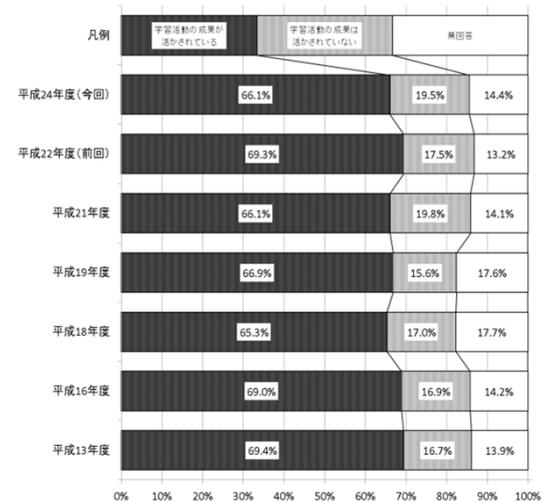
出典 松戸市の社会教育

● 公民館講座種類

講座名
成人講座
女性の講座
市民大学講座
まっど生涯学習大学講座
ふるさと発見創造講座
家庭教育学級
幼児家庭教育学級講座
中学校版家庭教育学級講座
市民自主企画講座
人権学習
合同作品展
合同音楽祭
おやこっクラブ(子育て支援事業)
基礎学力再履修講座

出典 松戸市の社会教育

● 学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合



出典 松戸市市民意識調査(平成24年度)

2. 施策の展開方向

自ら目標を持って学習をする市民団体等を支援し、利用促進を図るため、広報やホームページ等で情報提供し、公民館、青少年会館、図書館などの施設を快適に使用できるように管理運営します。

市民団体等に所属しなくても学習ができるように、公民館や青少年会館が講座・講演会等を開催します。また、学習の成果を発表できる機会を設けます。

図書館は、身近な生涯学習の中核的施設として、市民自らの学びを支援していきます。

3. 施策を推進していく上での課題

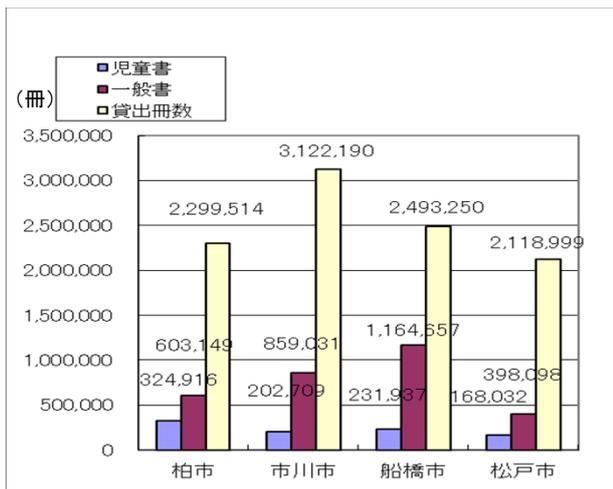
生涯学習活動の機会の拡充と場の充実を図るためには、市民ニーズに合った施設サービスの提供が求められており、既存の社会教育施設を有効に活用するための見直しが必要です。

また、自らの学習成果を発表できる機会を支援していくことや、生涯学習を通してのまちづくりや、ひとづくりを考えた環境整備が課題と言えます。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

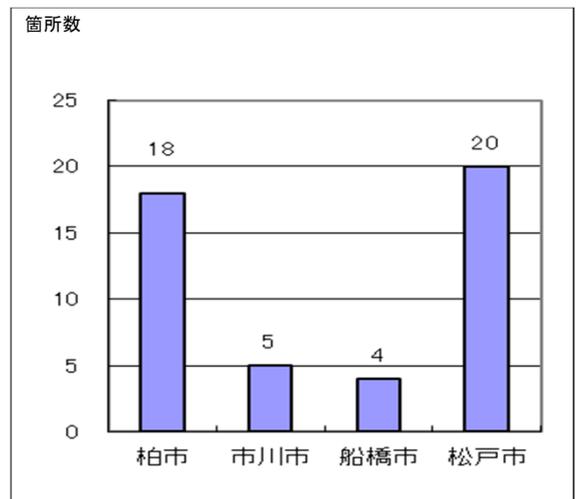
- ① 図書館分館が地域各所に設置されているので、市民の利便性が高くなっています（強み）
- ② 公民館は、市内の公共施設を活用した、学習機会の提供をしています（強み）
- ③ 美術展の出品者数が減少しています（弱み）

●図書館蔵書冊数と貸出冊数の比較(H23年度)



出典 船橋の社会教育、市川市の教育、柏市教育年報、松戸の教育よりデータ取得

●図書館数(分館を含む)



出典 千葉県の図書館

●市民自主企画講座より

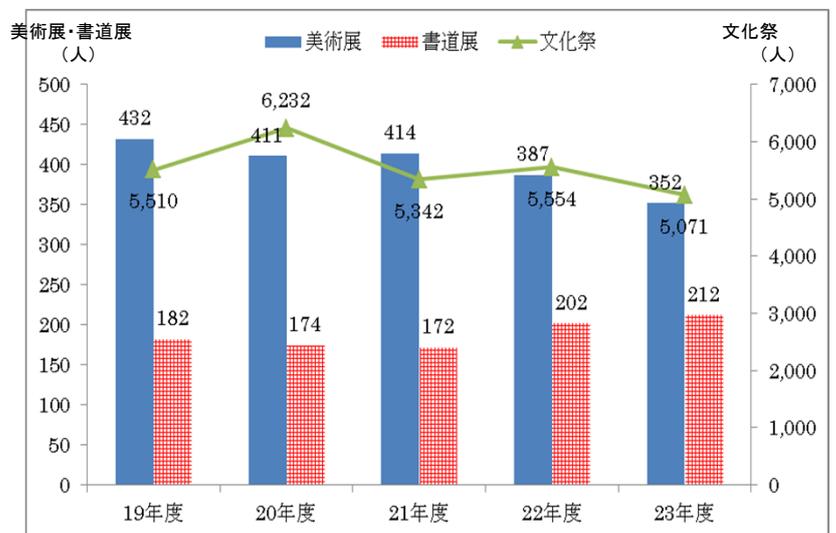


●松戸市文化祭



出典 社会教育課資料

●各展覧会等参加者数の推移



出典 松戸市の社会教育

政策9

生涯学習やスポーツを楽しむことができますようにします

2.子どもたちが健全に社会参加活動ができるようにします

1. 現況と課題

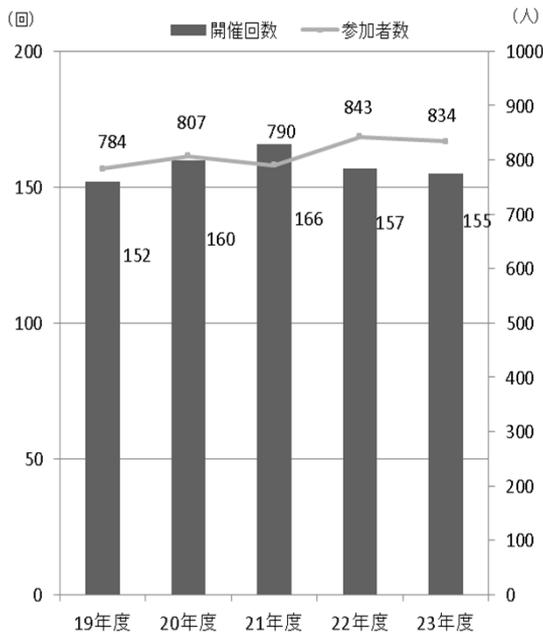
子どもを取り巻く社会構造や環境の変化により、青少年の問題行動・犯罪が深刻化していることから、現代の青少年を取り巻く社会環境や動向を的確に把握し、補導活動・相談活動・環境浄化活動など、非行防止に関係する機関・団体や地域と協力して、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進していく必要があります。

また、青少年の健全育成は地域との「ふれあい」が大切ですが、情報化社会の到来による多種・多様な価値観やライフスタイルの変化によって、従来の団体活動が市民ニーズに合わなくなり、地域活動の活気が失われつつあります。なお、少年センターは、非行防止に関係する機関・団体や地域と協力して、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進しています。

【特筆すべきニーズの変化】

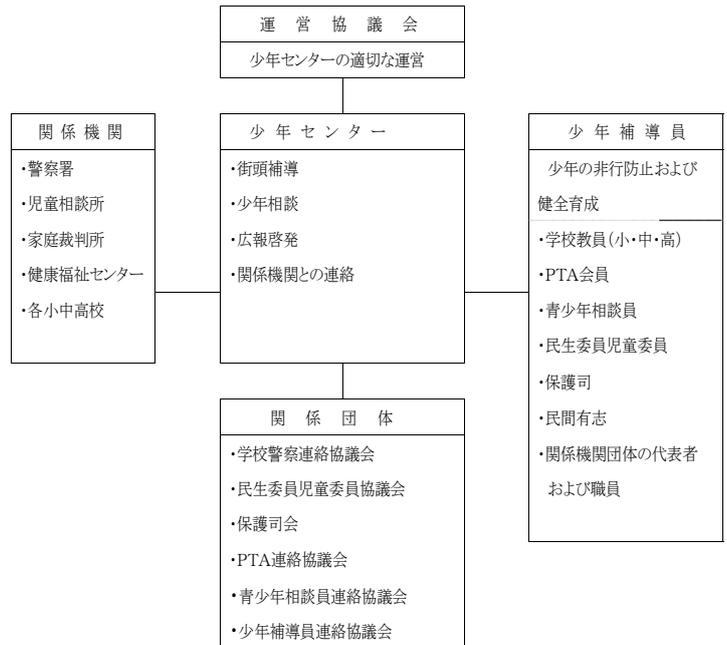
- ① 子どもが問題行動や犯罪に巻き込まれないように、健全育成活動が求められています（ニーズの増）
- ② 地域活動に青少年が参加できる環境整備が必要になっています（ニーズの増）

●青少年教室実施推移



出典 公民館事業報告書

●少年センター機構図



出典 松戸市の社会教育

●青少年教室



出典 青少年会館資料

●成人式



出典 社会教育課資料

●こどもモニター



出典 青少年課資料

2. 施策の展開方向

行政はもちろんのこと、家庭・学校・地域社会それぞれが適切な役割分担のもとに緊密に連携をとりながら、地域における青少年の健全育成に取り組んでいきます。子ども会の課題整理と解決策を検討して、子ども会への加入促進を進めていきます。また、子どもたちが夢中になり、将来に夢を持てる活動の研究と、研究に基づいた事業を実施していきます。地域においては、どのような人たちが青少年の健全育成に携っているかを地域の人々が把握し、地域における人材活用をできるようにします。

次代を担うジュニアリーダーを育成するため、「こどもモニター」制度をさらに充実したものにしていきます。また、青少年相談員の協力により、青少年健全育成に向けた事業をさらに積極的に推進します。非行防止に向けて、関係する機関・団体と情報を共有するとともに、意見交換を行い、地域での連携を図ります。また、有害環境の浄化活動を進めていきます。

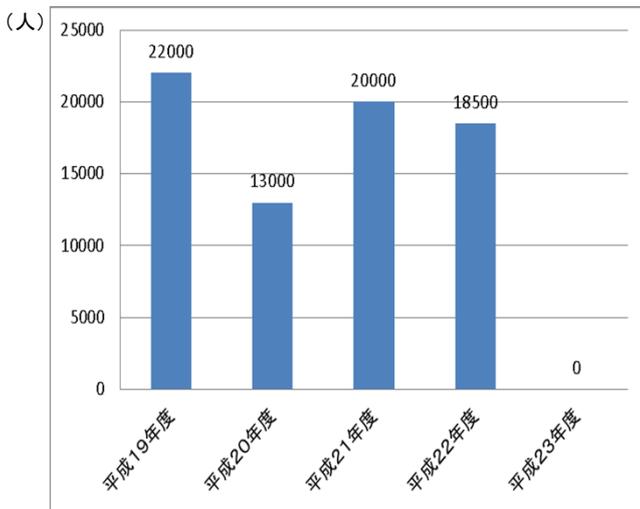
3. 施策を推進していく上での課題

多種・多様な市民ニーズに対応するため、各種団体のグループリーダー育成や、各種関係団体との連携を強化し、行政からの一方通行ではなく協働で事業を行うなど、地域活動を活性化していくことが必要ですが、地域活動を行う人材確保が難しいという現状があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① こども祭りは、松戸市独自でありこどもが一斉に集う行事は特徴的です（強み）
- ② こどもモニター制度によって、異年齢の子どもが交流を図り、様々な体験をこども新聞によって紹介しています（強み）
- ③ 新成人スタッフ制による成人式は、市民・行政の協働により行われています（強み）
- ④ 青少年対象講座は、幅広い分野を数多く開催提供しています（強み）

●こども祭り参加推移



※平成23年度は震災等の影響により中止
出典 青少年課資料

●こども祭り



出典 青少年課資料

●こども新聞



出典 青少年課資料



●青少年会館事業内容

事業名	内容
青少年教室	芸術・文化・自然・スポーツ等の教室を開催し、青少年が自ら学習し、仲間づくりを行なう機会とする。
青年講座	青年に身近な課題をとりあげ学習する講座を開催し、自己表現力を高め活力ある仲間作りを目指す。
文化祭&青年フェスティバル	講座の受講生と青少年サークルの発表成果やイベントを行い、団体相互や地域の方との交流、親睦を図る。
国際交流事業	諸外国の生活・文化・風習に触れる講座を開催し、国際的な視野を広げる機会とする。
青年学級	特別支援学校卒業後の青年の自立、余暇活動の充実、仲間づくりを支援する講座を開催。
アートパフォーマンスまつり	地域で芸術活動をする青年たちの成果発表と、団体間の交流、親睦を深め、地域に融合する芸術祭を開催。

出典 松戸市の社会教育

政策9

生涯学習やスポーツを楽しむことができます

3.スポーツをしたい人がスポーツをできるようにします

1. 現況と課題

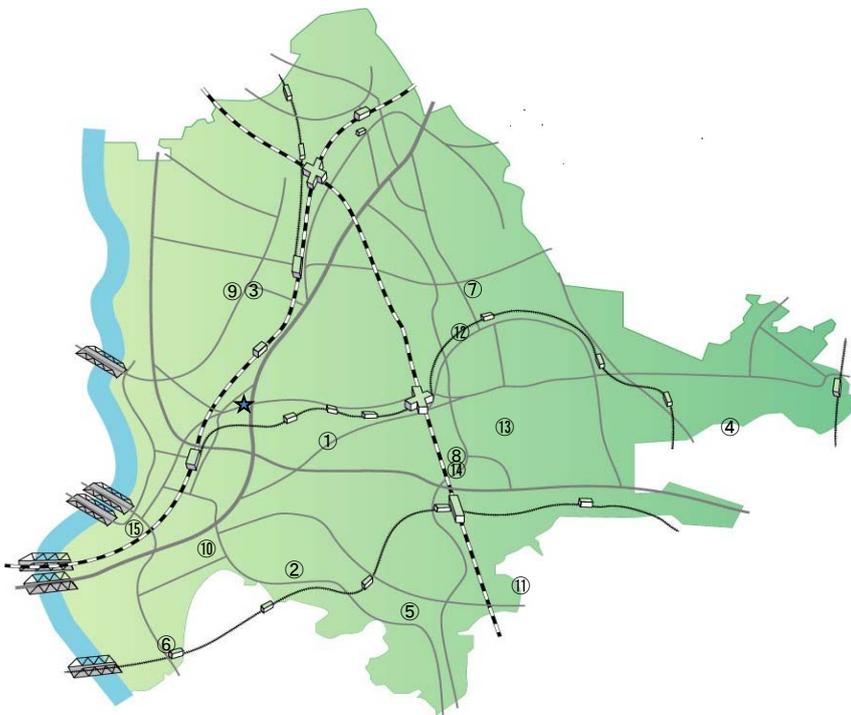
市民意識調査によると、スポーツをしている割合は平成13年度33.4%に対し、24年度は35.4%に増加しています。近隣市と比較して、体育施設の利用は多く、学校の体育施設の利用も増加傾向にあり、地域の活動が盛んに行われています。

体育施設を含む公共施設の利用申請等の手続きを簡易にし、限られた施設を有効かつ公平に提供するため、予約システムを導入するなど施設環境整備に取り組んでいます。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 公共施設を利用して、多くの方がスポーツを楽しんでいます（ニーズの増）
- ② ITを活用した施設の利用申請方法の簡易化が求められています（ニーズの増）

●体育施設一覧



施設名	所在地
①運動公園	上本郷4434
②和名ヶ谷スポーツセンター	和名ヶ谷1360
③青少年会館体育室	新松戸南2丁目2
④クリーンセンタースポーツ施設	高柳新田37
⑤東部スポーツパーク	高塚新田427
⑥柿ノ木台公園体育館	松戸594-7
⑦小金原体育館	小金原6丁目4-1
⑧常盤平体育館	常盤平松葉町1-3
⑨新松戸プール	新松戸南2丁目3
⑩松戸中央公園	岩瀬487-1
⑪紙敷庭球場	紙敷2-1-1
⑫栗ヶ沢公園庭球場	小金原8丁目26
⑬金ヶ作公園	常盤平3丁目27-1
⑭中央ゲートボール場	常盤平西窪町26
⑮古ヶ崎河川敷スポーツ広場	古ヶ崎地先

●体育施設利用状況推移



出典 松戸市の社会教育

出典 松戸市の社会教育

●近隣体育施設利用状況(H22年度)



出典 船橋市スポーツ課、市川市スポーツ課、柏市教育年報、松戸市の社会教育よりデータ取得

2. 施策の展開方向

生涯スポーツの普及と推進について、全ての市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを通して、健康で明るい活力ある生活が送れるよう、スポーツに親しめる環境づくりを推進していきます。また、スポーツを通しての交流や団体及び指導者の育成・支援を進めていきます。

3. 施策を推進していく上での課題

スポーツをしている市民の割合を増やすためには、現有施設のキャパシティや老朽化があり、スポーツを取り巻く環境の整備が必要です。

「総合型地域スポーツクラブ」については、設立されたクラブの自主運営の安定化や支援が必要であり、また新たな設立を目指す地域を模索していくことが課題と言えます。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 競技レベルが高く、全国大会へ出場する選手が数多くいます（強み）
- ② 古ヶ崎河川敷スポーツ広場が無料で利用できます（強み）

●スポーツ教室



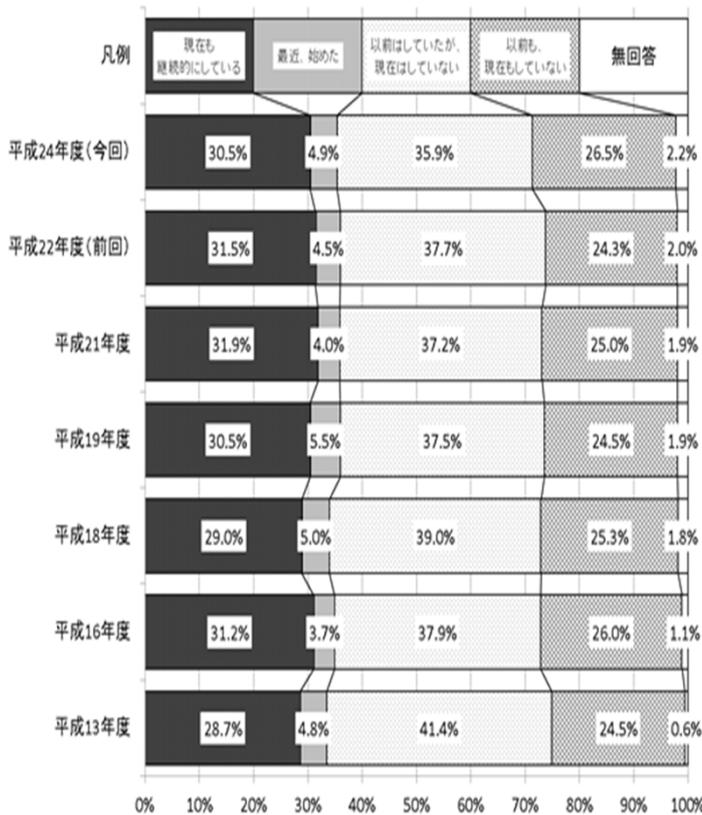
出典 スポーツ課資料

●七草マラソン大会



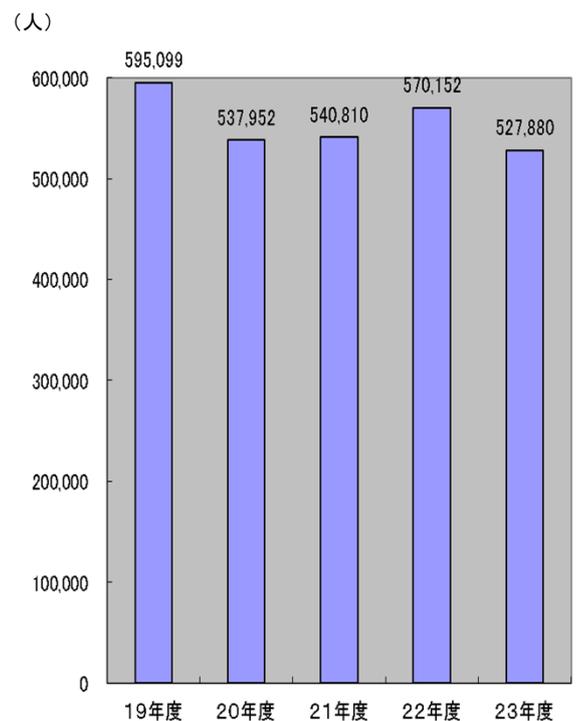
出典 スポーツ課資料

●スポーツをしている割合



出典 松戸市市民意識調査(平成24年度)

●学校体育施設開放利用状況推移 (小学校44校・中学校20校)



出典 スポーツ課資料